

東日本梱包管理士会第一支部 オンラインで

### SDGs 研修会を開催

東日本梱包管理士会第一支部(渡邊和雄支部長)は5日、東日本梱包工業組合第一支部(溝井広明支部長)との共催で「SDGs 研修会」を完全オンライン形式で開催。

講師は、古小路勝利総合研究所の古小路勝利所長で、テーマは「なぜ、今、SDGsなのか?」。

古小路所長は、中小企業から東証1部上場企業まで、あらゆる企業規模の社長や

取締役、執行役員として独自の人財育成や組織改革術、業績改善、企業再生に携わってきた経験や知識を駆使し、現在で



#### なぜ、今、SDGsなのか?



～SDGsを知ること、これからSDGsが跳(いざな)うマーケット・お客様の志向を先読みし、SDGsでビジネスチャンスを手に入れる～

東日本梱包管理士会第一支部 2022.10.5

古小路講師のセミナー画面

は現場レベルまでのSDGsの落とし込みにより、SDGsへの取り組みがビジネスチャンスであると話す。

そして、SDGsの認知度や対応が対世界レベルで大きく立ち遅れている日本の現状を示し、「SDGsを視野に入れた目標を設定し取り組むことがチャンスにつながる」として、古小路所長自身の成功事例である新規事業を紹介し、「今までの延長上ではなく、新しい方法で今まで以上の価値を提

供する方法、今ある資源から別の価値を提供する方法を考えること」と話す。

また、「今ある仕事で貢献する」として2030年までの経営計画の作成も推奨。最後に11月からスタートする、SDGsに取り組むための講座を案内した。

「SDGsに取り組むにも、利益がでない取り組みは続かない。この先、SDGsは必要不可欠で、取り組まない企業は取引先を失っていく。しかし視点を変えればビジネスチャ

ンスにも気づき、ビジネスとして成り立たせることができると話す。それが持続のポイントの一つ」と話した。(小澤 裕)